

平成 20 年 6 月 20 日

各 位

会社名 ゼネラル株式会社
代表者名 代表取締役 北田 猛
(コード 3890 大証第2部)
問合せ先 執行役員経理部長 有野 隆久
(TEL 06 6933 1805)

平成 20 年 10 月期中間連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 12 月 20 日付にて当社連結業績予想をお知らせいたしておりますが、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 10 月期中間連結業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

- 1.平成 20 年 10 月期中間連結業績予想数値の修正(平成 19 年 11 月 1 日～平成 20 年 4 月 30 日)
(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	14,000	600	500	400
今回予想数値(B)	13,640	793	586	496
増減額(B-A)	360	193	86	96
増減率(%)	2.6%	32.2%	17.2%	24.0%
前期(平成 19 年 10 月中間期)実績	13,809	196	524	338

2. 修正の理由

(連結業績)

当中間期においては、原油高持続の環境下、プリティンク・メディア事業、OA サプライ事業等において、採算重視の取り組みを強化したことなどにより売上高は減少する見込みですが、営業利益は、32.2%増の 193 百万円増となる見込みであります。また経常利益は匿名組合の分配金の減少等により営業外収益が減少するため、86 百万円増にとどまる見通しであります。さらに当期純利益では 96 百万円の増加となる見込みであります。これは、業績予想発表時点と比較して、貸倒引当金戻入等の増加があるものの、訴訟解決の和解金支払や関係会社整理損等の増加によるものであります。

3.平成 20 年 10 月期連結通期業績予想について

上記、中間修正連結業績予想において、業績予想発表時点より、売上高が減少し、営業利益、経常利益、当期純利益が増加いたす見通しであることから、今回通期業績予想に関して、最近の景況の動向等を勘案いたしました。世界経済の不安定さから国内景況感の後退ならびに原材料の持続的な値上がりが予想されますことから、主力のプリンティング・メディア事業ならびに OA サプライ事業において、原料高・製品安の厳しい環境は続くものとみられます。このため、通期業績予想に関しては、前回の予想発表とおりとしております。

平成 19 年 12 月 20 日発表の平成 20 年 10 月期連結通期業績予想数値

(平成 19 年 11 月 1 日～平成 20 年 10 月 31 日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期業績予想 (A)	28,000	1,200	1,000	500
前期平成 19 年 10 月期実績(B)	27,828	638	1,130	434
増減額 (A - B)	172	562	130	66
増減率 (%)	0.6	87.8	11.5	15.0

(注)業績予想に関する注意事項

- ・個別業績予想に関しては、当社は純粋持株会社への移行過程にあり、外部取引が僅少化し、投資情報の必要性が薄れておりますので、当期より廃止しております。
- ・この資料に記載されている売上高および利益の予想金額は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成されたものであり、実際の売上高および利益は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

<ご参考>

平成 20 年 10 月期 個別中間業績見込 (平成 19 年 11 月 1 日～平成 20 年 4 月 30 日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
中間業績見込 (B)	725	111	40	55
前期(平成 19 年 10 月中間期)実績(A)	1,081	271	319	477
増減額 (B - A)	356	160	279	422
増減率 (%)	32.8%	59.0%	87.5%	88.5%

以上